

# 文学館だより

令和 4年 7月 1日  
若山牧水記念文学館  
TEL 0982 - 68 - 9511  
文 責 日 高



左 高野ムツオさん  
右 伊藤 一彦館長

「'22 みやざき現代俳句の集い」が6月4,5日宮崎市で開かれました。記念講演を務められた俳人高野ムツオさんが翌6日、若山牧水記念文学館にお越しくださいました。展示をひとつひとつ丁寧にご覧になられ、文学館に一句残してくださいました。(写真右)

泥かぶるたびに角組み光る蘆



## 「みなと」をご存じですか

「牧水・短歌甲子園」の夏がやってきます。今年は、日向の会場で全国の高校生をお迎えできるよう準備を進めています。大会の様子は改めてお伝えするとして、ここでは牧水・短歌甲子園OBOG会「みなと」の活躍をお伝えしたいと思います。

「牧水・短歌甲子園」に出場した仲間が集い、OBOG会「みなと」が発足しました。平成29年(2017)第7回「牧水・短歌甲子園」の時のことでした。今でも日向に集まり、「牧水・短歌甲子園」を支え続けてくれています。それぞれの地でそれぞれの道を歩む彼らが一年に一度、日向の「みなと」に戻ってきてくれるのです。

これまで紙上審査が続きましたので、今年の再会が楽しみです。

### 「牧水・短歌甲子園」での「みなと」の活躍

### 令和元年の記録より



写真1



写真2



写真3

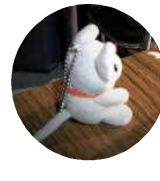


写真4



写真5

- 写真1、2 舞台にはフィールドアナウンサーの姿あり。2校の対戦を進行します。  
写真3 客席には熱戦を生配信する姿あり。即座に全国に発信します。  
写真4 舞台袖にはタイムキーパーの姿あり。時を知らせる音が会場に響きます。  
写真5 表彰式では介添えの姿あり。

会場至る所に「みなと」の姿あり。今年も活躍の姿を追いたいと思います。

### 「牧水・短歌甲子園」以外での活動の場

- 機関誌「みなと」作成・・・コロナにより現在休止中  
新年歌会・・・コロナにより現在休止中  
チャットを利用した短歌コンクールなどの情報共有  
文学館での「みなと」展

当文学館では、年に一度、「みなと」のメンバーから短歌を寄せてもらっています。私たちはこれを「みなと」展と呼んでいます。今年は会場展示ができそうです。

### みなと展のはじまり

- |              |                            |
|--------------|----------------------------|
| 平成29年 (2017) | 「文学館でみなと展をしたい」と話題にするが実らず。  |
| 平成30年 (2018) | 「せひみなと展を」と再度提案する。          |
| 令和元年 (2019)  | 第1回「みなと展」開催 自由題 1~2首       |
| 令和2年 (2020)  | 第2回「みなと展」開催 自由題 1 題詠 「休」 1 |
| 令和3年 (2021)  | 第3回「みなと展」開催 自由題 1 題詠 「明」 1 |
| 令和4年 (2022)  | 第4回「みなと展」開催 自由題 1 題詠 「空」 1 |

## 牧水短歌朗詠の会

## 牧水の里で朗詠



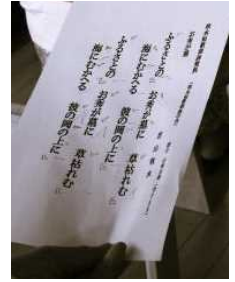
東村吉市さんが会長を務める「牧水短歌朗詠の会」の皆さんが、牧水のふるさと坪谷に来てくださいました。普段は別会場で練習されているとのことですが、「ぜひ、牧水のふるさとでやりたい」との声が上がり実現しました。

6月24日(金)、10名の会員の方が集まり、開会の挨拶に続き、朗詠が始まりました。

今後も定例会ができたらし希望が広がり、ご案内できる日が来ればと願っています。

坪谷っ子たちが歌う牧水の歌、小関裕

二作曲の白鳥の歌、そして「牧水短歌朗詠の会」の朗詠と、牧水の歌は間違いなく歌い継がれています。



## あくがれの旅人来たる 一県一人の文化びとを訪ねて

先月、北海道よりひとりの女性が来館された。  
一県一人の文化びとを訪ねているという。

牧水母校作品展をご覧になったの「今も生きてますねえ」のひとつと、「『牧水』の『水』は、まさしく今日のこの天候ですね」のひとつが胸を突いた。次は大分に向かうと言われていた。この日本一周あくがれの旅は彼女のこれからに大きな意義をもたらすに違いない。

牧水先生が、また新たな出会いを与えてくださった。

## 牧水先生の一首

折に触れて出会う一首を紹介しています

### なにゆゑに旅に出づるや、なにゆゑに旅に出づるや、何故に旅に

なにゆゑに たびにいづるや、なにゆゑに たびにいづるや、なにゆゑにたびに

明治45年、牧水が27歳の時に詠んだ歌です。

『名歌即訳若山牧水』(大谷和子著)に『自分自身に問いかけるように歌いながら、それでも私は旅に出かける、という強い意志すら感じられる。』と解説している一文があります。

牧水と先月の旅人が私の中で重なった瞬間です。「日本一周するならテーマを持って」と言った彼女の言葉に、彼女の心意気みたいなものを感じました。

## 第26回若山牧水賞受賞者 黒瀬珂瀾氏 来県

### 【授賞式】

日時 令和4年7月18日(月) 15:00 ~ 17:30  
会場 ニューウェルシティ宮崎  
記念講演 伊藤一彦氏(若山牧水賞選考委員)

### 【若山牧水記念文学館および牧水生家来訪】

日時 令和4年7月19日(火) 11:30 ~

### 【受賞記念講演会】

日時 令和4年7月19日(火) 15:00 ~ 17:00  
会場 日向市中央公民館  
講師 第25回若山牧水賞受賞者 谷岡 亜紀氏 「牧水の酒」  
第26回若山牧水賞受賞者 黒瀬 珂瀾氏 「牧水の現代性」

この2日間の内容は来月号で報告しますので、楽しみにお待ちください。